

クラスワイド(学年単位)の ポジティブな行動支援 実践研究報告

**小学校低学年の学年全員に
朝の健康観察で、適切な声の大きさ
で返事をする行動を教える。**

学年の実態

- 男女比1:2。静かでおとなしく穏やかな児童の割合が高い。
- 学校生活にも慣れ、少しずつ行動範囲が広がってきた。
- あったか言葉やあったか行動を前年度から意識して育てているため、他者に対してやさしい気持ちを持つ児童が多い。

学年団の教員の考え

「小さな声で自信なさそうに振る舞わず，自分に自信を持って大きな声で返事をしてほしい」

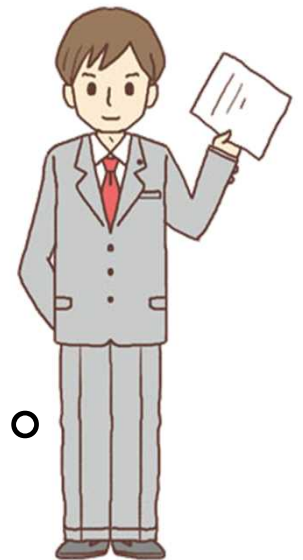
＋「素直な気持ちを持ってほしい」

「前年度に元気のない返事をすることに取り組んでいた5年生のように，はきはきと教室中に聞こえる声で返事をしてほしい」



校内リーダーからの助言

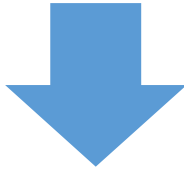
- 元気よく「はいっ」と返事をする行動は、手続きが簡単で、毎日朝の会で繰り返し行うことであり、指導や記録が簡単にできますね。
- 児童にとって、他の児童の行動・声量を参考にしやすいですね。
- 教員の称賛が児童に対して即時にフィードバックされやすいですね。



【指導目標】

呼びかけに「はいっ！」と返事ができる

そのためにまず



「元気のよい返事」

をすることができる

- 取組の中で、子どもの行動を褒めたり認めたりすることで教員と子どもの信頼関係を太くするために

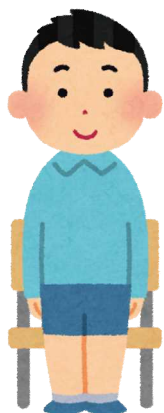
指導前：ベースラインを記録する

- 5日間、各学級担任が朝の会の健康観察で児童の返事の様子を4段階で評価し、児童名簿に記録した。

記録方法

- ◆声の大きさ(適度な声)
- ◆起立(姿勢を正す)
- ◆前を向いて

3つの視点



はいっ！
元気です！

- 3つとも満足な水準・・・3点
- 2つ満たす・・・・・・・・2点
- 1つ満たす・・・・・・・・1点
- 全く満たさない・・・・0点

指導計画

「具体的目標の実施計画表」を学年団と校内リーダーで検討，作成した。

ポイント！ わかりやすさ

- ・要点を言語化して，掲示物を作成し，やり方やポイントが伝わりやすくした。
- ・ロールプレイや授業の号令，朝の会など日常生活の中で練習する機会を多く確保した。

具体的目標の実施計画表

行動指導計画表

ステップ1: 教える行動を決める

呼びかけには「はい」と返事しよう。

ステップ2: 児童に伝える「この行動を学ぶ理由」を考える

- ・気持ちを ととのえる。
- ・呼びかけている人への思いやり。
- ・相手に「わかりました」とか「そうだね。」という気持ちを伝えることができる。

ステップ3: 行動の具体例

良い例

- ① 相手を見て、丁度よいボリュームで「はい。」
- ② 「～しよう」と言うと、相手を見て「はい。」

悪い例

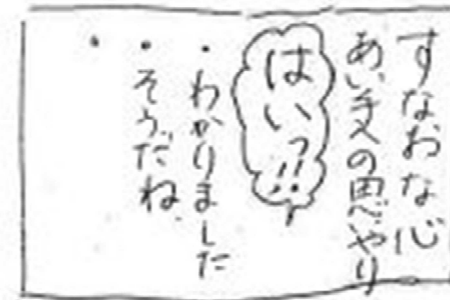
- ① 名前をよばれても 人の顔無さ、背を向けて「へい。」の声が小さい
- ② 「～しよう」と言っても、うつむきま、返事なし。

ステップ4: 実際に練習するための具体的な計画を立てる

1. 学活、道徳で ロールプレイ
 - 【悪い例】... 教員が 濃く 悪く 思うところを児童が言語化する。
 - 【良い例】... 児童に 濃く させる。
2. 健康観察の「はい」を録画して見せる。 ○ ◎ ☉ → ☆5年生の健康観察を見学に行く
3. 授業の始めと終わりの「はい」を全員で練習。

ステップ5: 期待される行動の手がかりを作成する

- ・ 「はい」ということばにある意味と使う場面を考えさせる。
- ・ その内容を 掲示しておく。



具体的目標の実施計画表

ステップ6: 児童に自ら取り組んでもらうことについて計画する

- ① 名前を呼ばれたら「はい!」と返事しよう。
- ② 健康観察 授業の始めと終わりの「姿勢 はい。」を声を合わせて全員で言おう。
- ③ 「へししょう」という呼びかけには、「はい!」と返事しよう。

ステップ7: 児童の行動変容を記録する方法を計画する

- いつ: <6月上旬> ベースラインをとる <6月中旬> 介入後
- 頻度: 週1回
- 方法: { 健康観察の時に Δ \bigcirc \odot \otimes を担任が記録 (園児班) 毎日記録 → ほめる、個人
- { 動画で撮影する。(大西先生)
- の姿勢「はい」2秒静止 (担任)

ステップ8: 望ましい行動に対する「ほめ方」を計画しましょう

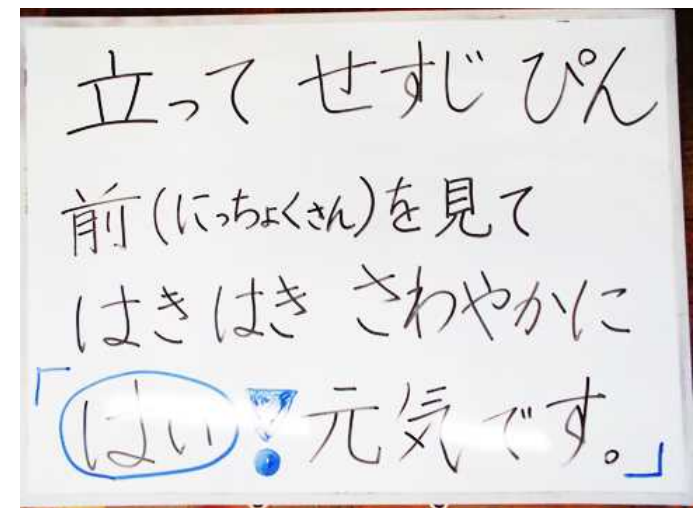
- ・ 返事名人を紹介する。
- ・ 良くなった動画を見せる。(集団)
- ・ 記録した Δ \bigcirc \odot \otimes で自分の成長がんばりを実感させる。(個別)
- ・ 全員で「はい」2秒静止ができたなら シール をほめる (収集したら ミニぼうし)。 (集団)

学年ワイドでの指導

道徳・学活の時間で児童に教示

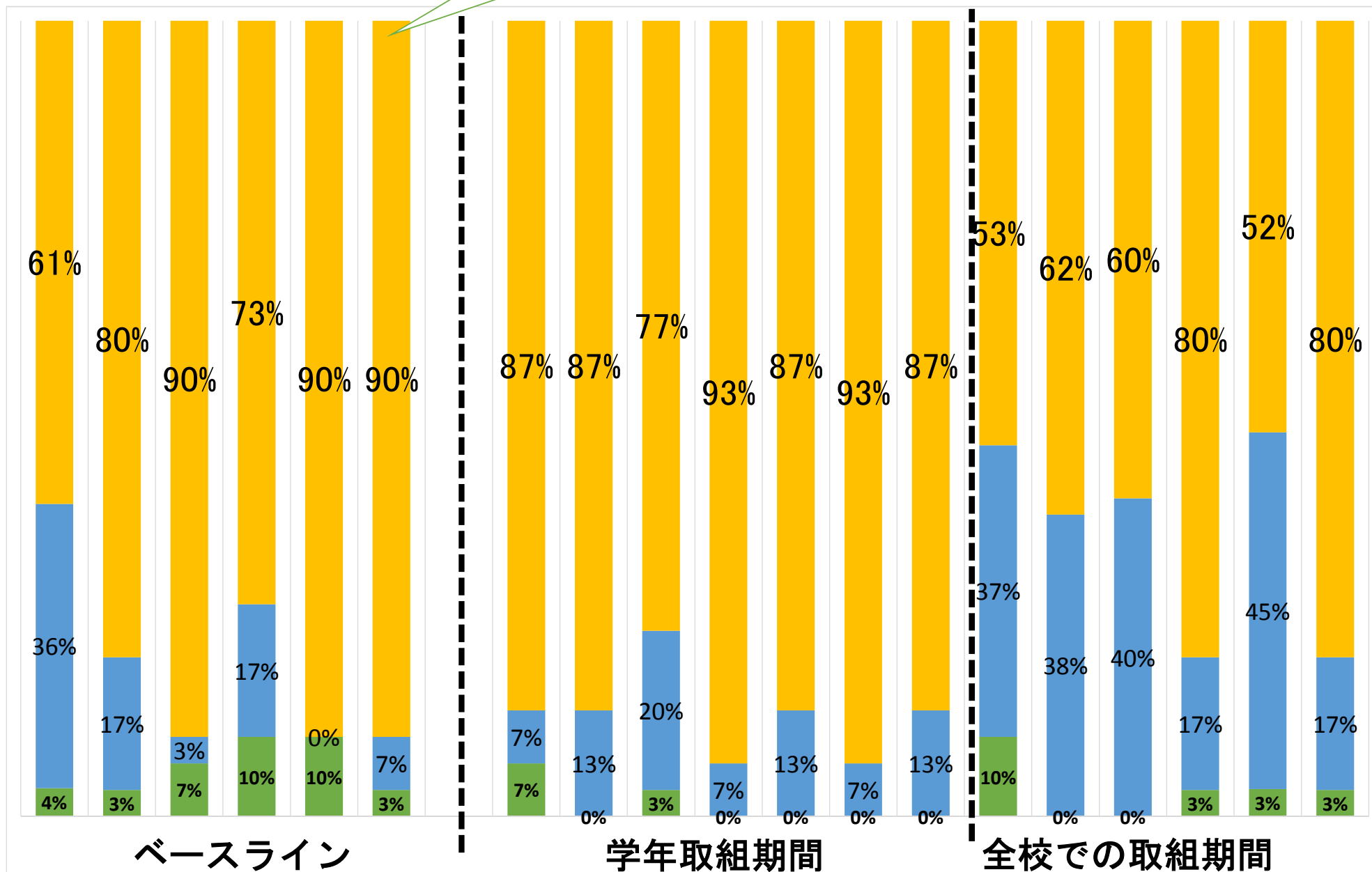
(元気のよい返事の意味＋ロールプレイ)

- 練習機会を多くした。(朝の会の健康観察や授業開始時, 終了時のあいさつなど)
- 前年度取り組んでいた5年生の返事の様子を観察に行く(学年全員)。
- よい返事のポイントを言語化し, 掲示した。
- 同級生をモデルにした。



指導の結果

3点の子ども ■



指導の成果

練習によって、少しずつではあるが適切な声量で返事できる児童が増えた。
また、自信を持って「はいっ！」と返事できる児童も多くなった。



全校展開へ(かもっこスマイルプロジェクトの1つとして)

他の学年へ「はいっ！」と元気よく返事をすることの大切さを伝えるに行った。また、他学年からの見学も受け入れた。



他学年への呼びかけ



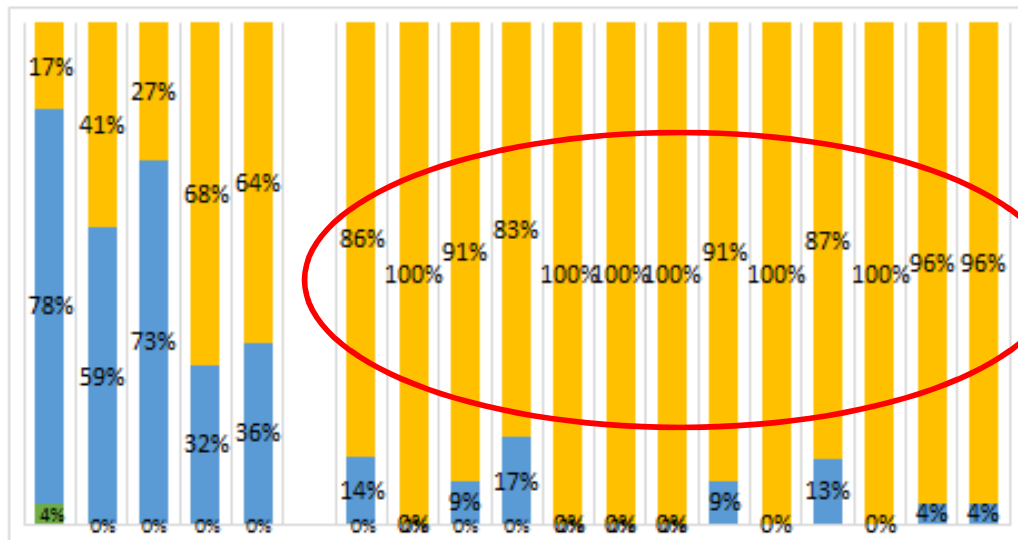
見学の受け入れ

指導の成果

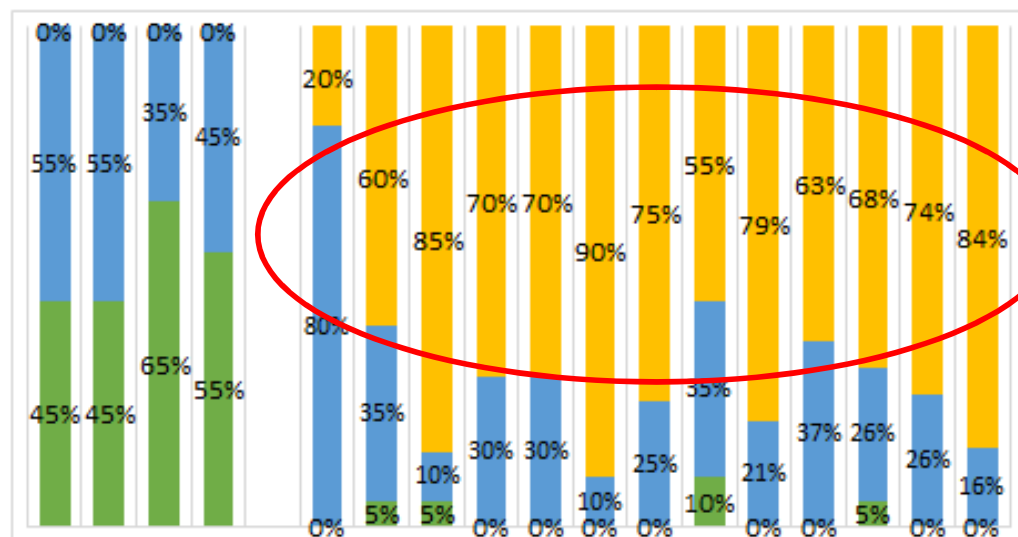
他の学年でも同様の取り組みを進めたところ、2年生からの呼びかけ以降、繰り返し練習した結果、行動が定着した。

特に1年生と6年生で顕著な向上が見られた。

結果 1年1組



結果 6年1組



ここが成功のポイント



- 毎日繰り返し練習する機会が多い行動を目標に設定し、称賛する機会を増やしたこと。
- 高学年のモデルが身近に存在し、刺激を受けやすかったこと。
- 前年度のノウハウがあったこと。
- 不安の高い児童も、練習機会を多くすることで安心して取り組むことができた。